

【三月の言葉（平成三十一年）】

聴聞（教えを聞く）とは、
自分を見つめ、
自我の殻が破れることです

聴聞とは、仏さまの話を聞くことですが、単に頭で教えを聞くことではありません。

教えを聞くことにより、仏の光に我が身が照らされていくのです。自我のメガネでしか見れない私たちが、仏さまの眼を通して、自分自身を見つめさせていただくのです。

仏教に会う、念仏に会うというのは、自我の殻が破れ、自我のメガネをはずすことです。

仏さまは慈悲の眼で、私たち一人一人を我が子のごとく認め、比べず、分け隔てせず、決して見捨てないと働いてくださっています。

仏法を聞くとは、仏さまの智慧と慈悲の眼をわが身にいただき、生きる支えとしていくことです。